

# 市長記者会見



本日の案件

- 1 **いわき甲子園プロジェクトについて**  
～スポーツを通じた地域課題解決プロジェクト「野球による地域創生」～
- 2 **市総合防災訓練【大雨・洪水編】の実施について**  
～線状降水帯被害への備え～

令和7年6月25日

# 市長記者会見



1

## いわき甲子園プロジェクトについて

～スポーツを通じた地域課題解決プロジェクト「野球による地域創生」～

## 課題

- 中学の野球競技者は、高校の選択(進学)の際、市外の甲子園常連校を選択するケースが多く見受けられる。
- 本市だけに限った課題ではないが、地域にとっても野球競技者にとっても、有為な人材が地元を離れることは、深刻な課題。

思考的課題	技術的課題
<ul style="list-style-type: none"><li>●甲子園に行くには常連校が近道</li><li>●大学進学など将来展望の幅が広がる</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>●全国レベルを体感する場が少ない</li><li>●地域一貫の連携体制がない</li></ul>

みんなにわかりやすい目標設定

地域一貫で課題解決に向けた取組を行う

みんな  
で  
目指す  
ことに  
意義  
がある

## 野球人口の推移

年度		学童 (a1)	ソフト (a2)	小学生計 (A)	高野連 (B)	継続率 (B)/(A)
H20	2008	293	534	827	628	75.9%
H21	2009	359	514	873	620	71.0%
H22	2010	361	486	847	580	68.5%
H23	2011	274	453	727	513	70.6%
H24	2012	281	384	665	465	69.9%
H25	2013	275	355	630	436	69.2%
H26	2014	240	348	588	480	81.6%
H27	2015	236	346	582	488	83.8%
H28	2016	220	343	563	510	90.6%
H29	2017	220	343	563	462	82.1%
H30	2018	220	280	500	447	89.4%
R1	2019	190	259	449	429	95.5%
R2	2020	164	229	393	432	109.9%
R3	2021	199	233	432	416	96.3%
R4	2022	202	224	426	372	87.3%
R5	2023	199	201	400	337	84.3%

直近10年で  
競技人口が  
約半数に...

東日本大震災発災

小学生減少率 (H20→R5) 48.4%  
高野連減少率 (H20→R5) 53.7%

(参考)

市内小学生の減少率 (H20→R5) 74.2%

※ H20 : 20,844人 → R5 : 15,478人

## 基本方針

### 人材という 地域資源

小中高一貫で、子供たちと地域が同じ  
目標のもと活動することは、  
地域愛着(選好)の醸成が図られる。

- 帰市率(地元回帰)向上が期待  
※教育者、指導者としての動機付け
- 教育の質の向上(受験者増、学力UP)

## CIVIC PRIDE

### 地域への 経済効果

(地場産業的要素)

2018年の夏の甲子園で準優勝した金足農業の  
秋田県地域への広告費換算価値は約104億円

- 市産品のセールス強、観光業への波及大
- 雇用の創出にも効果有

### 郷土への誇り 市民の士気高揚

メディア露出高による地域・学校名の認知度の向上

- 社会からの評価大(誇れる街、街の自慢)
- 市内地域、人的の連帯を育み、街の活性化促進
- 歴史を顧み、街のシンボル再興

シビック  
プライドの  
醸成を目指す

## 取組の目標

- 地域一体で「甲子園」を目指す環境整備を
- シビックプライドを醸成し、地元回帰の定着化を

競技団体などで構成する  
実行委員会で  
取組を検討

ふるさと回帰への意識醸成

体験の場を  
提供

小学校

豊富な  
経験

中学校

目標①  
市内高校から  
甲子園

高校

見聞、人脈を  
広め、更なる  
経験を

大学

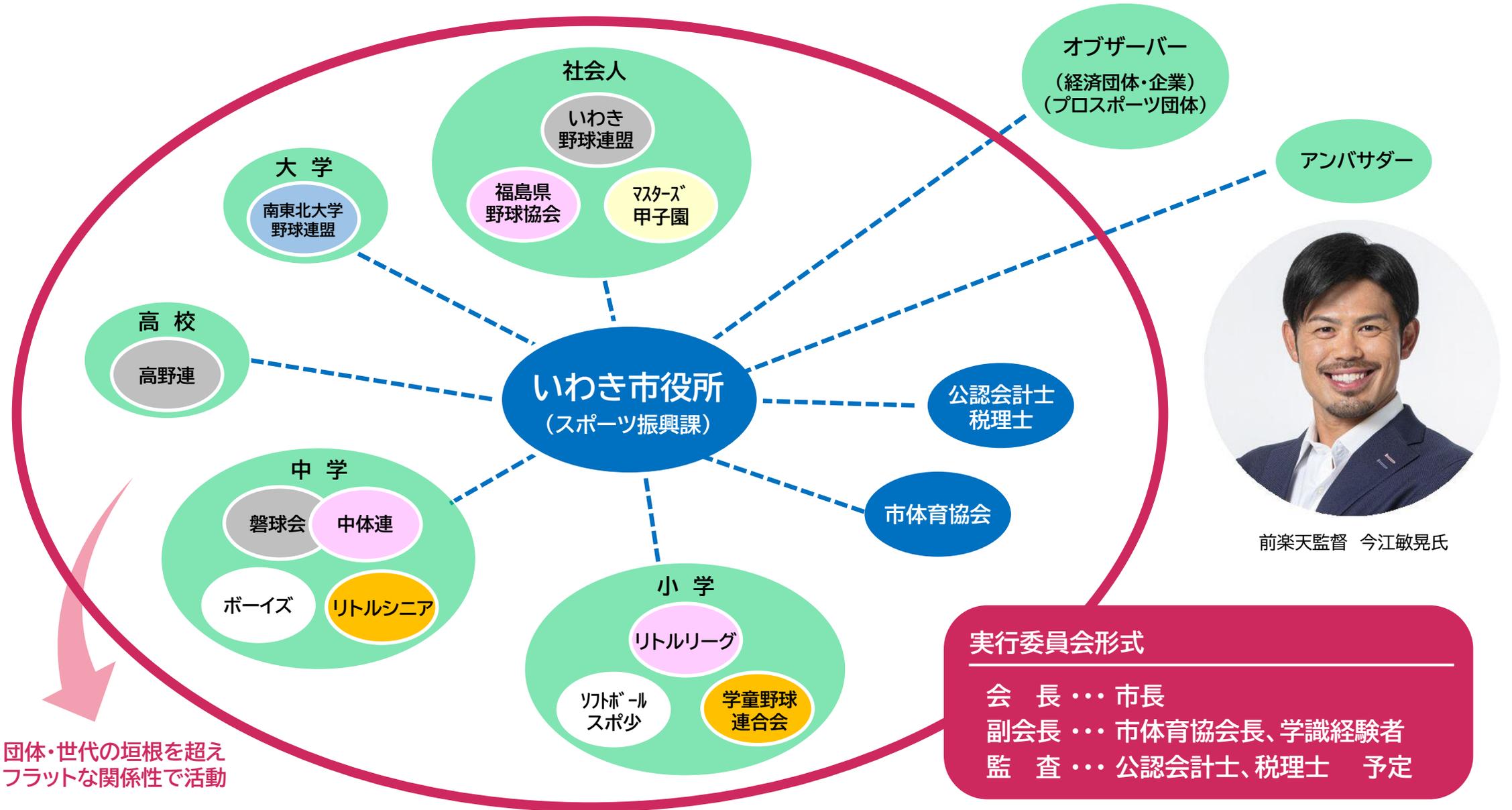
目標②

「いわき」の  
担い手

社会人

進学先、就職先の選択が多様化する中、地元を選択してもらえる取組

# いわき甲子園プロジェクト実行委員会の組織構成イメージ



# 今後の取組

## 市内関係者の意識共有

市内競技団体代表者による意見交換会

## 市内ムーブメントの取組

小 中 高

プロ野球を活用した市民サービス

全

市内高校と市外強豪高校を招いての交流事業

高

## 競技力向上支援

小 中

指導者講習会

小 中

先進地視察

思考的課題の解決

技術的課題の解決

R7年度  
主な  
予定事業



甲子園観戦事業



元プロ野球選手による学校訪問



プロ野球公式戦の誘致



ティーボール普及事業

# このプロジェクトを通して

---

子供たちが「市内から甲子園を目指せる」  
環境をみんなで作り上げる。

- 子供たちが笑顔になる
- それを見守る保護者、指導者が笑顔になる
- 子供たちが学校、地域で明るい話題を出す
- 学校、地域に活気が生まれる
- ふるさといわきが元気になる
- 住みたい、帰りたい街になる

# 市長記者会見



2

市総合防災訓練【大雨・洪水編】の実施について

～線状降水帯被害への備え～

# 訓練実施概要

## 1 日時

令和7年6月28日(土) 8時30分～11時30分

【予備日：6月29日(日)】

## 2 訓練想定

「台風が接近し線状降水帯が発生」

## 3 参加予定数

約1,500人(うち市民500人)

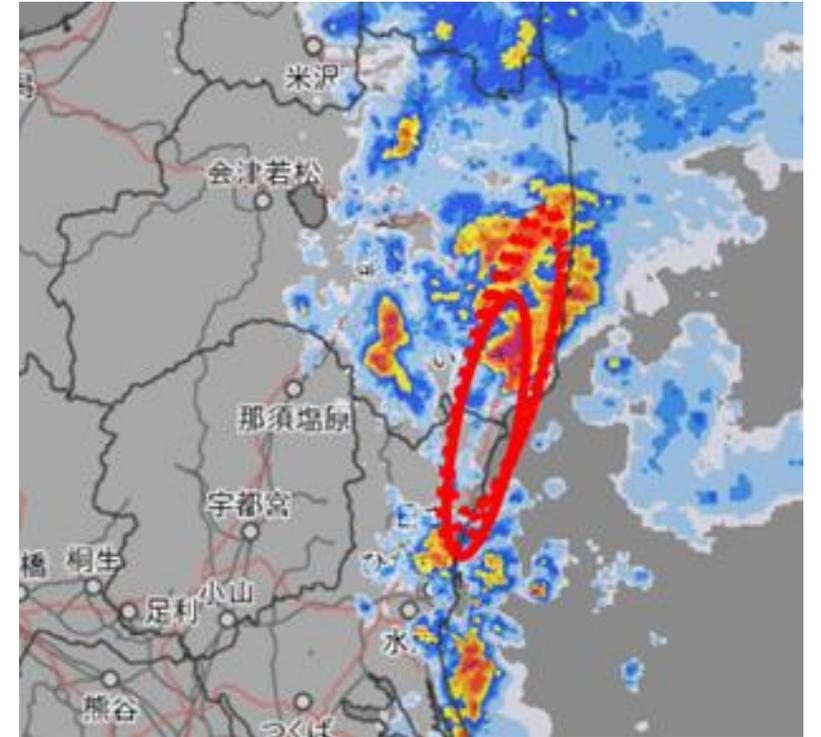
## 4 中止基準

避難所を開設するような事象が発生した場合

## 5 注意事項

当日8時30分に避難訓練用の「高齢者等避難」を発令

市民の皆様には、同時刻に「緊急速報メール」でお知らせします



想定イメージ

# 災害対応力強化を目指して

訓練の更なる深化を目指し **本年度は企画から連携**

いわき市



東北大学災害科学国際研究所

## <参加関係機関>

国：陸上自衛隊、福島海上保安部、国土交通省東北地方整備局、福島地方気象台

県：福島県、福島県警察本部

他：東北電力ネットワーク(株)、佐川急便(株)、ヤマト運輸(株)、新常磐交通(株)、福島テレビ(株)、(株)いわき市民コミュニティ放送、福島市、郡山市

# 令和7年度市総合防災訓練テーマ

「逃げ遅れゼロ」 「災害死ゼロ」



地域防災力の強化 を目指します

# 訓練の特徴

自助

共助

公助

Point 1 若年層の積極的な参加

Point 2 デジタル技術の活用

Point 3 市民の避難行動の醸成

県内初

# 家族で考える防災クイズ

応募資格：小学生～大学生  
(ぜひ、家族の皆さんと一緒に  
考えてください)

クイズ実施期間  
6月25日(水)～7月31日(木)

参加者の中から抽選で15名に  
「防災グッズ等」をプレゼント!

全問正解者の中から抽選で10名に  
「防災士養成講座の受講資格」を  
プレゼント!



クイズ制作者：鈴木 仁太



動画サムネイル



# Point1 若年層の積極的な参加

県内初

## 機能別消防団の参加

今月14日に発足した、機能別消防団員の活動の一環として市内の大学生等が避難所運営の支援活動を行います。

### 【活動内容】

#### 避難所の開設、運営補助

- 段ボールベッド、パーテーション等の設営
- 避難所の受付
- 避難所での救護活動



### 【場 所】

平第二中学校

#### 【機能別消防団】

特定の役割に従事する消防団員

本市では、若年層の消防団員が少ないことから、市内の大学生等が団員となり、広く市民に消防団の活動等を発信するとともに、災害時の後方支援等を担う

# Point2 デジタルの活用

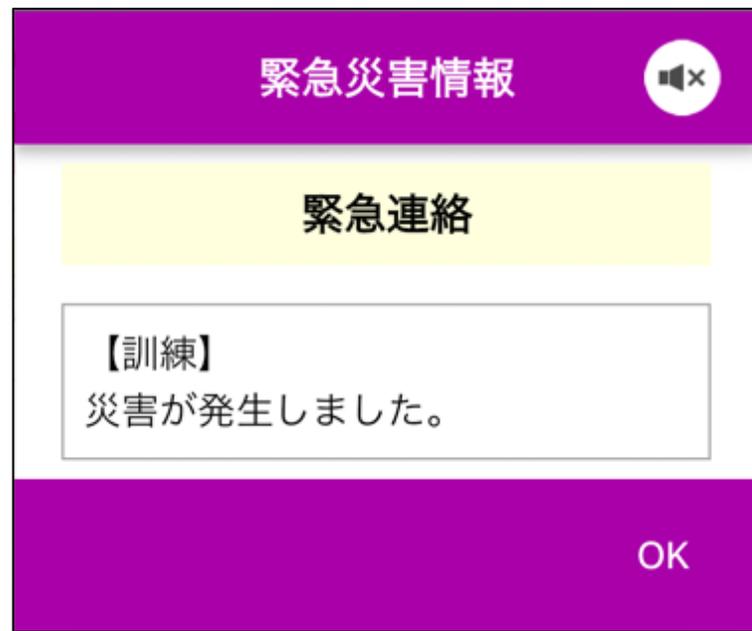
本市初

## 結ネットを活用した安否確認の実証試験

地域ICTプラットフォームサービス「結ネット（ゆいねっと）」を活用した安否確認の実証試験を実施します。

実施地区：平地区のアプリ導入自治会（平18区、平26区、平53区）

市役所



①災害モード発動



③安否情報を集約



住民



②安否情報を発信

# Point2 デジタルの活用

県内初

## ワンコイン浸水センサを活用した訓練

センサが浸水を検知することにより道路冠水が発生していることが判明し対応する訓練を災害対策本部で実施します

実施内容：センサを活用した  
状況把握・対応訓練



センサタイプ①



センサタイプ②



設置箇所：市内6地区42箇所(75基)

【内訳】

平、小名浜、勿来、常磐、内郷、久之浜・大久

# Point 3 市民の避難行動を醸成

本市初

## 優先開設避難所等への避難訓練

避難訓練の後、避難所開設・運営訓練等を実施します



写真：避難訓練様子



写真：避難所開設訓練様子

【各地区の訓練会場】

地区	会場
平	平二中
小名浜	鹿島公民館
勿来	勿来一小
常磐	湯本三中
内郷	内郷一中
	高坂小
	高野小・内郷三中
四倉	四倉高
遠野	旧入遠野中

地区	会場
小川	小川小
好間	好間中
三和	三和 ふれあい館
田人	田人小・中
川前	川前公民館
久之浜 大久	久之浜二小

**当日参加可能**

# その他の訓練

本市初

郡山市、福島市との相互支援協定に基づく連携訓練



いわき市



郡山市



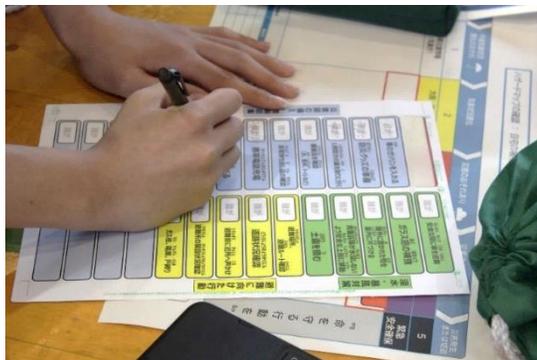
福島市

福島市、郡山市もWEBにより訓練に参加し、相互応援協定に基づく訓練を実施

災害時における相互支援等に関する協定締結日 令和6年3月28日

本市初

福島県マイ避難シートの作成体験



写真：マイ避難シート

福島県の「マイ避難推進員」が会場に出向いて「マイ避難シート」作成を支援する

実施場所：平第二中学校

新常磐交通(株)と連携してバスを活用した避難訓練



写真：新常磐交通(株)SORA

車いす利用者を含む地域住民を避難所までバスで避難させる訓練を実施

実施場所：内郷宮町  
～内郷第三中学校

# 逃げ遅れゼロ・災害死ゼロ

---

市民の**命**を守る取組みを  
**全力**で進めていきます。



いわき市